

## 「京銀未来ファンド」初の取り組み ファンドを活用し取引先のMBOを支援します！



京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、株式会社 川島織物セルコン（本社所在地 京都市左京区、以下、対象会社）が発行する転換社債型新株予約権付社債（以下、CB）を、本件支援を目的とした特別目的会社「京都企業成長支援ファンド（以下、SPC）」にて引き受け、対象会社経営陣による、株式会社 LIXIL（本社所在地 東京都江東区、以下、LIXIL）からのマネジメント・バイアウト（以下、MBO\*）を支援します。

※MBO…M&A手法の一つで、会社の経営陣が金融支援を受け、自ら自社の株式等を買取り、経営権を取得すること。

### 記

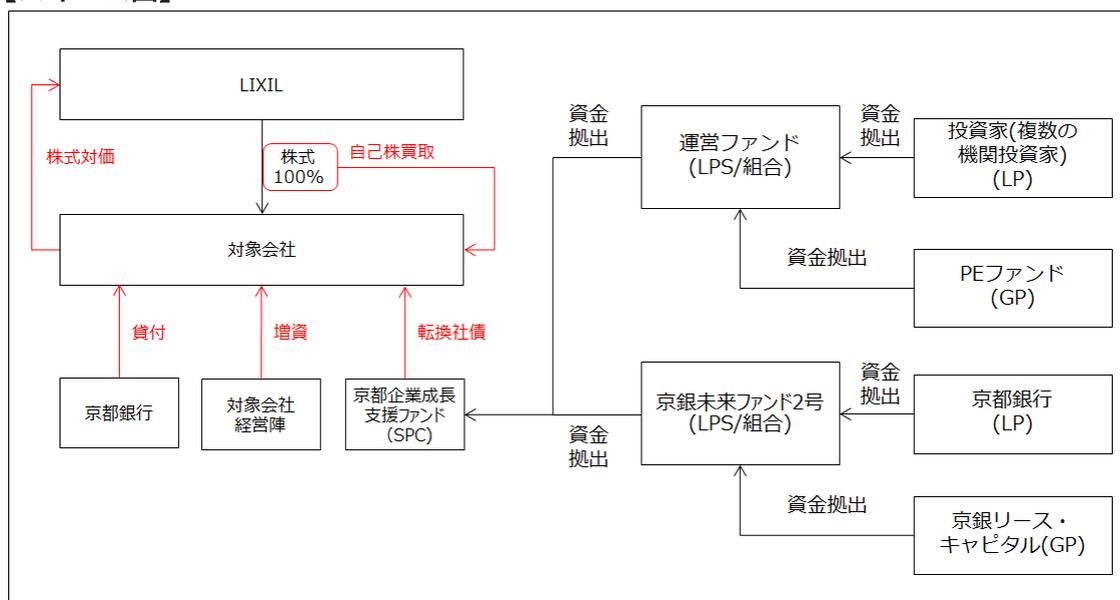
#### 1. 本件概要

当行が2019年2月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役 奥野 浩）と共同で設立した「京銀未来ファンド2号」と、外部提携先の独立系プライベート・エクイティ・ファンド（以下、PEファンド）による運営ファンドが、SPCに対して資金拠出を行い、SPCが対象会社の発行するCBを引き受けます。

対象会社は、上記調達資金と当行の貸付金を原資として、LIXILから自己株式を取得するとともに、対象会社経営陣による増資引き受けをもって、発行済み株式総数の全てを保有することとなる予定です。

なお、本件は「京銀未来ファンド2号」における第15号投資案件となり、「京銀未来ファンド（1号および2号ファンド）」で初めてのMBOの実現に向けた取り組みとなります。

#### 【スキーム図】



## 2. 京銀未来ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	<p>当行営業エリア内に本社を置く以下の企業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等</li> <li>・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等</li> </ul>
出 資 者	<p>無限責任組合員 (GP)：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (LP)：株式会社 京都銀行</p>
ファンド総額	20億円(2020年1月に10億円から増額)
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年(ただし、合意により2年間の延長可能)

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにSDGsの目標のアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

